土質ボーリング柱状図（オールコア）

調査名	一級河川高梁川水系成羽川測量設計業務委託（河川改良・単独）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	河川　護岸

ボーリング名	Boring No.1	調査位置	広島県庄原市東城町川東地先(主測線1)			北緯	34° 53’ 51.7202″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	令和4年 1月28日～ 令和4年 1月30日	東経	133° 16’ 24.9518″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 303.74m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	2.75m	使用機種	試錐機	YBM-05D			
			エンジン	ヤンマー製NS-75型	ポンプ	ヤンマーAAA型	

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対稠度	コア採取率（%）／最大コア長（cm）	記事	孔内水位／測定月日	原位置試験 深度（m）	原位置試験 試験名及び試験	試料採取 深度（m）	試料採取 試料番号	試料採取 採取方法	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度（cm／h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削水・送水量（L／min）	排水量（L／min）
1	302.99	0.75		砂礫		橙白 茶褐 灰白 茶褐		15 100	現河床堆積物。主に砂，礫から構成される。砂は粗砂主体。礫はφ5～50mm程度の亜角礫が大部分を占める。	第四紀沖積層（礫・砂・粘土）							1/28	150	66/ケーシング	S/WC	0.1	60	0.0	W3 0.0	0.0
	302.74	1.00		泥岩					泥岩主体層。亀裂が少なく，岩片自体比較的硬質である。											D/DC			0.0	W4 5.0	5.0
	302.14	1.60		砂岩		青灰		16 100	中粒～粗粒の砂を主体とし，一部に級化層理確認される。									100	66	D／DC	0.3	100	0.0	W4 5.0	0.0
2	300.99	2.75		礫岩		暗茶褐 灰斑褐		40 100	礫はφ20～30mm程度の亜角礫を主体とする。礫種は花崗岩，砂岩，延期性岩などから構成される。	第三紀層（泥岩主体層）							1/31								
3																									
4																									
5																									
6																									